

保護者の皆様

大田区立仲六郷小学校
校長 山本 秀一

令和2年度 大田区立仲六郷小学校保護者会 全体会資料「令和2年度 学校についてのアンケート」のまとめ

いよいよ令和2年度も最終月を迎えました。保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。今年度は長い臨時休業・分散登校から始まり、感染症対策と学びの保障・充実との両立を図る難しい1年でした。最後の保護者会の機会に、学校評価として本校における今年度の教育活動等の振り返り・反省とともに、今後に向けた考え方等についてお知らせいたします。今年度の教育活動の成果等を検証する上で、11月下旬から12月上旬にかけて全児童・全保護者を対象として実施した「学校についてのアンケート」の回答集計を最も重要な根拠資料としました。右に児童の回答状況、裏面左側に保護者の皆様からの回答集計結果を示しています。それぞれ上が今年度（令和2年度）、下が昨年度（令和元年度）の結果です。今年度は予定どおりにできないことも多く課題も大きい1年でしたが、経年での変化を通じて学校の教育活動の改善を図ることを目的としているため、あえて項目内容を変更することなく実施させていただきました。回答が難しい項目もあったことと存じますが、ご理解ください。

【 児童を対象としたアンケート 】

13項目のうち、肯定的な回答（よく当てはまる・当てはまる）の割合が上がったものが6項目、下がったものが6項目でした。昨年度と比較し、大きく変わらないといえます。肯定的な回答が8割を越えたものは、13項目中11項目ありました。8割に達しなかったものは、「2 先生は、こまったことやなやみなどの相談にのってくれますか（79%）」、「6 本を読むことが、好きですか（79%）」の2項目で、昨年度と比較するとそれぞれ2ポイント減でした。

新型コロナウイルス感染症の影響による不安定な生活などから、こまったことやなやみなどを相談したいと思った児童は多かったのかもしれませんが、この結果を踏まえ、さらに子ども一人一人の心に寄り添った指導・支援が重要であると感じました。

読書活動については、読書学習司書や図書ボランティアの皆様などとも連携しながら進めてきました。肯定的回答が約8割に達している反面、「当てはまらない」と回答した児童が12%と多いのが目立ちました。個人差が大きいようです。学力の中でも近年は「読解力」に関する課題がよく話題にあがります。次年度は年3回の読書週間を中心に多様な読書活動を展開し、「読書好き」の子どもたちを多くすることを目指します。各ご家庭においても「家読」の機会などを中心に、本に親しむ時間をつくってみたいと思います。

右表に示したのが、経年比較で増減が著しかったもの（±3ポイント以上）です。学校再開に際して子どもたちが感じた喜びがプラス要素になった反面、感染症対策等の影響によって活動を中止したり制限したりしたものがマイナスにはたらく傾向が見られるようです。

* 昨年度から3ポイント以上「増」のもの

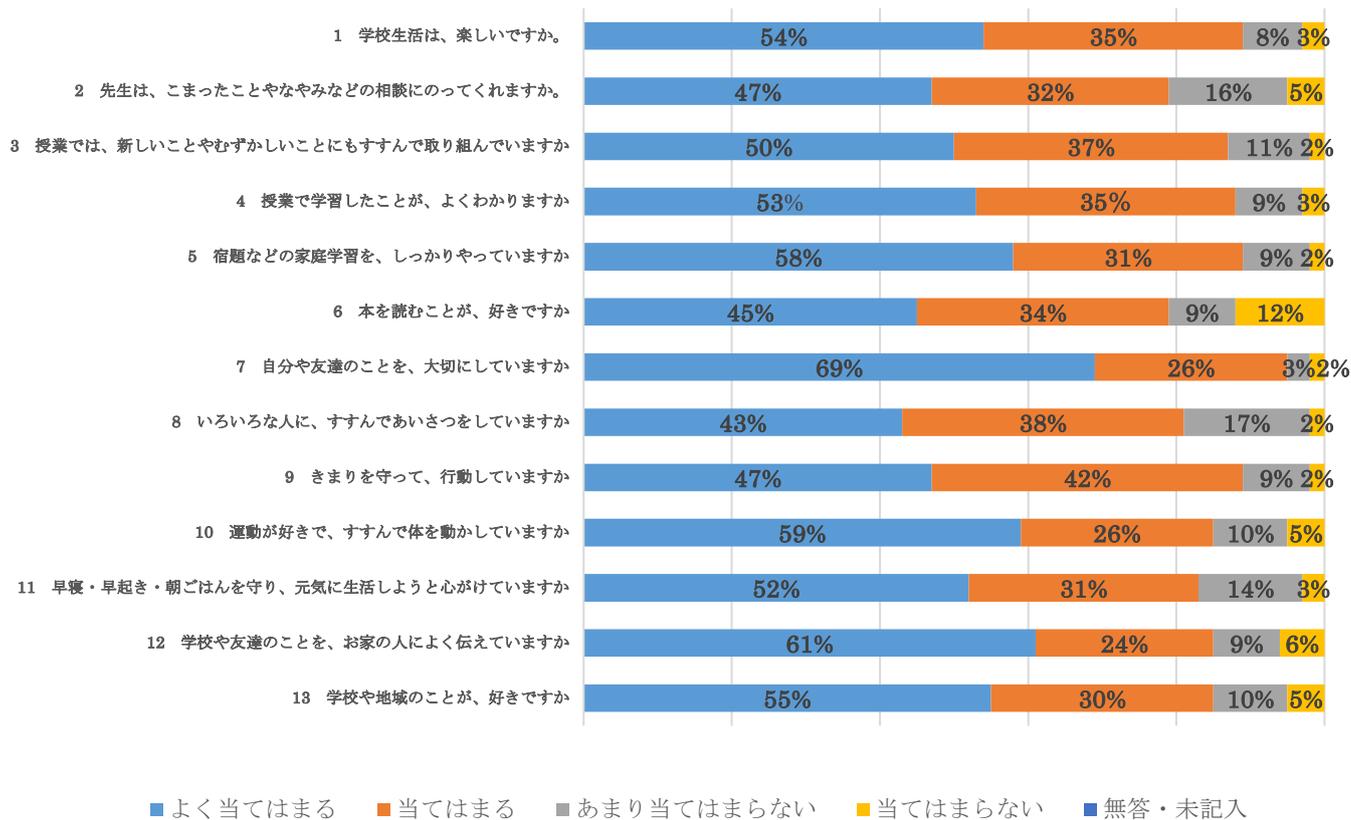
項目番号・内容	肯定的回答率	昨年度比
10 運動が好き すすんで体を動かす	85%	+7ポイント
4 授業で学習したことがよくわかる	88%	+3ポイント
12 学校や友達のことを家の人によく伝える	85%	+3ポイント

* 昨年度から3ポイント以上「減」のもの

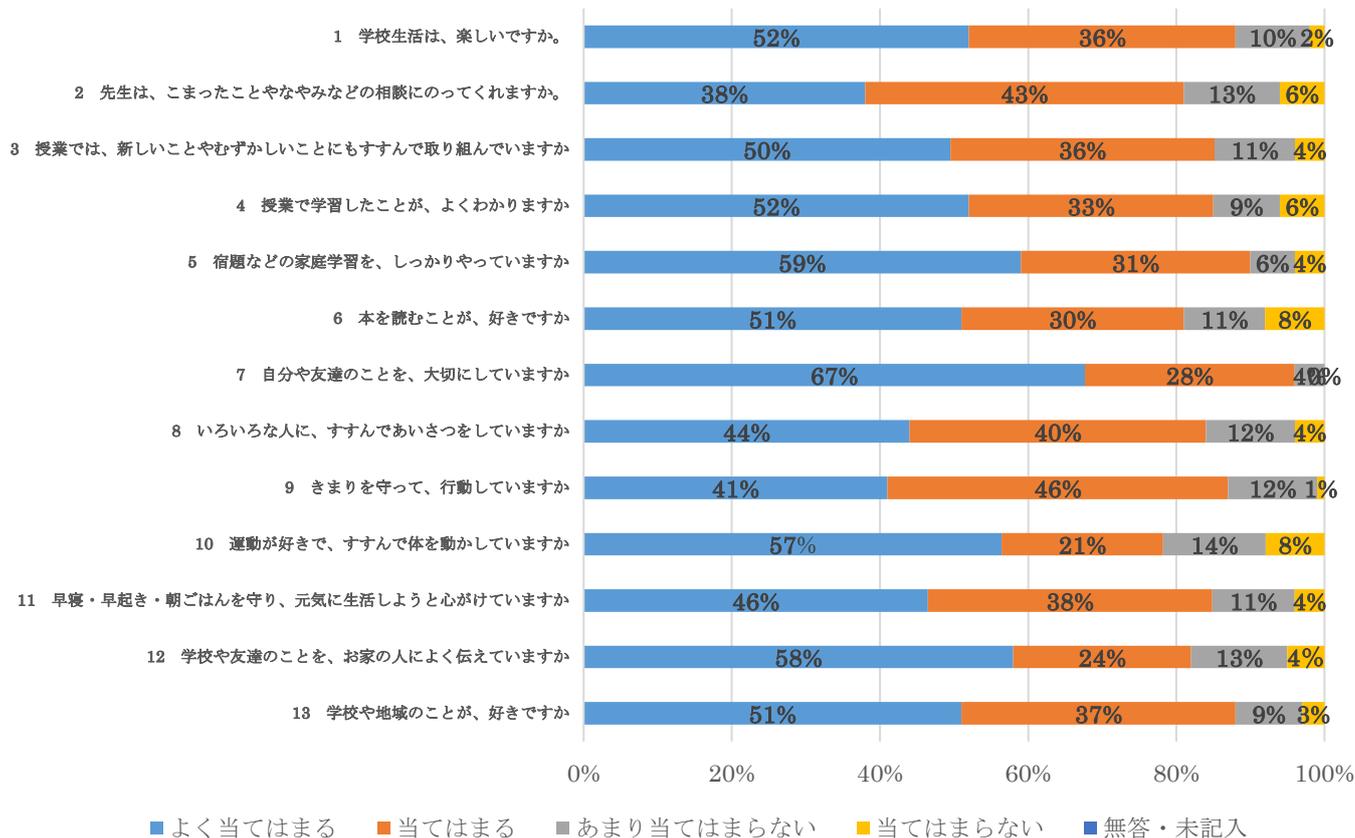
項目番号・内容	肯定的回答率	昨年度比
8 すすんであいさつしている	81%	-3ポイント
13 学校や地域のことが好き	85%	-3ポイント

カラー版はホームページでご確認ください。

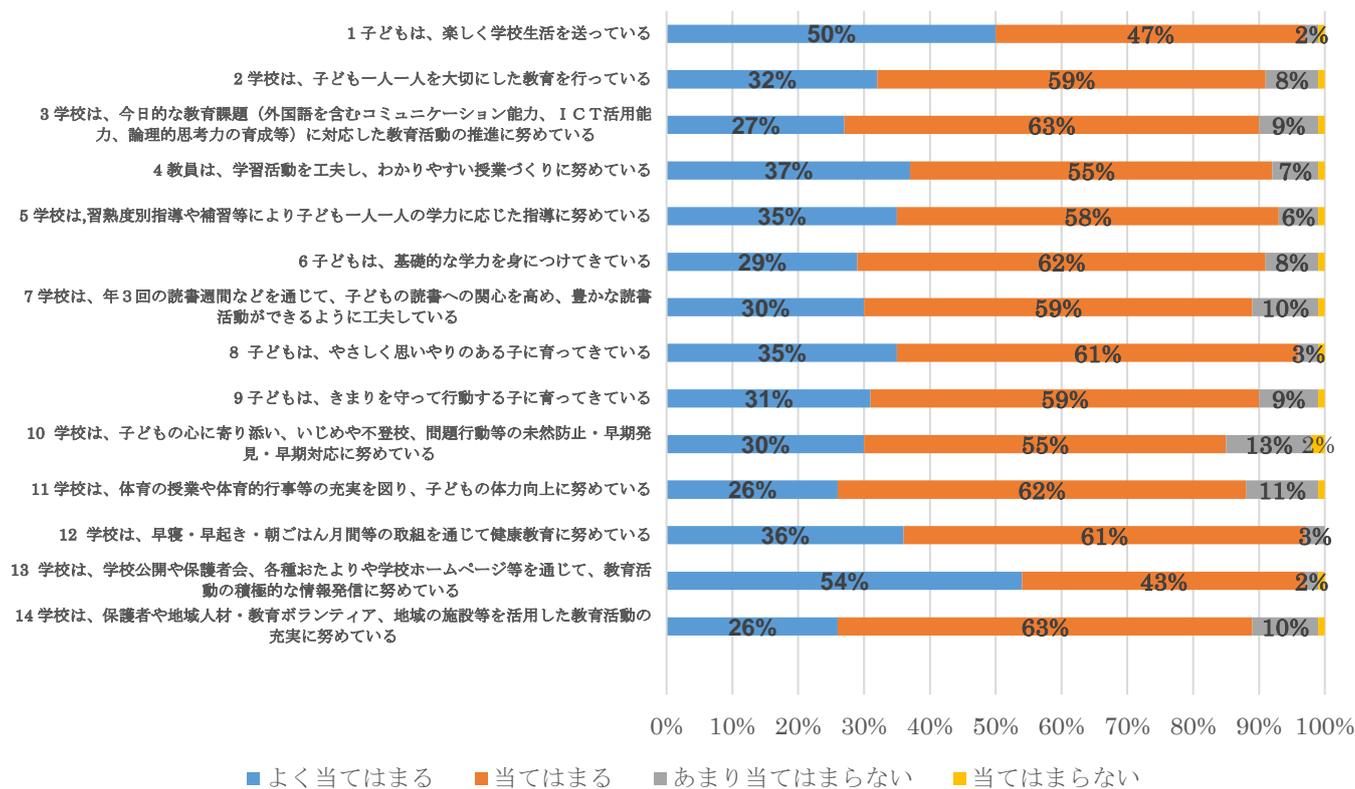
令和2年度 学校についてのアンケート（児童）



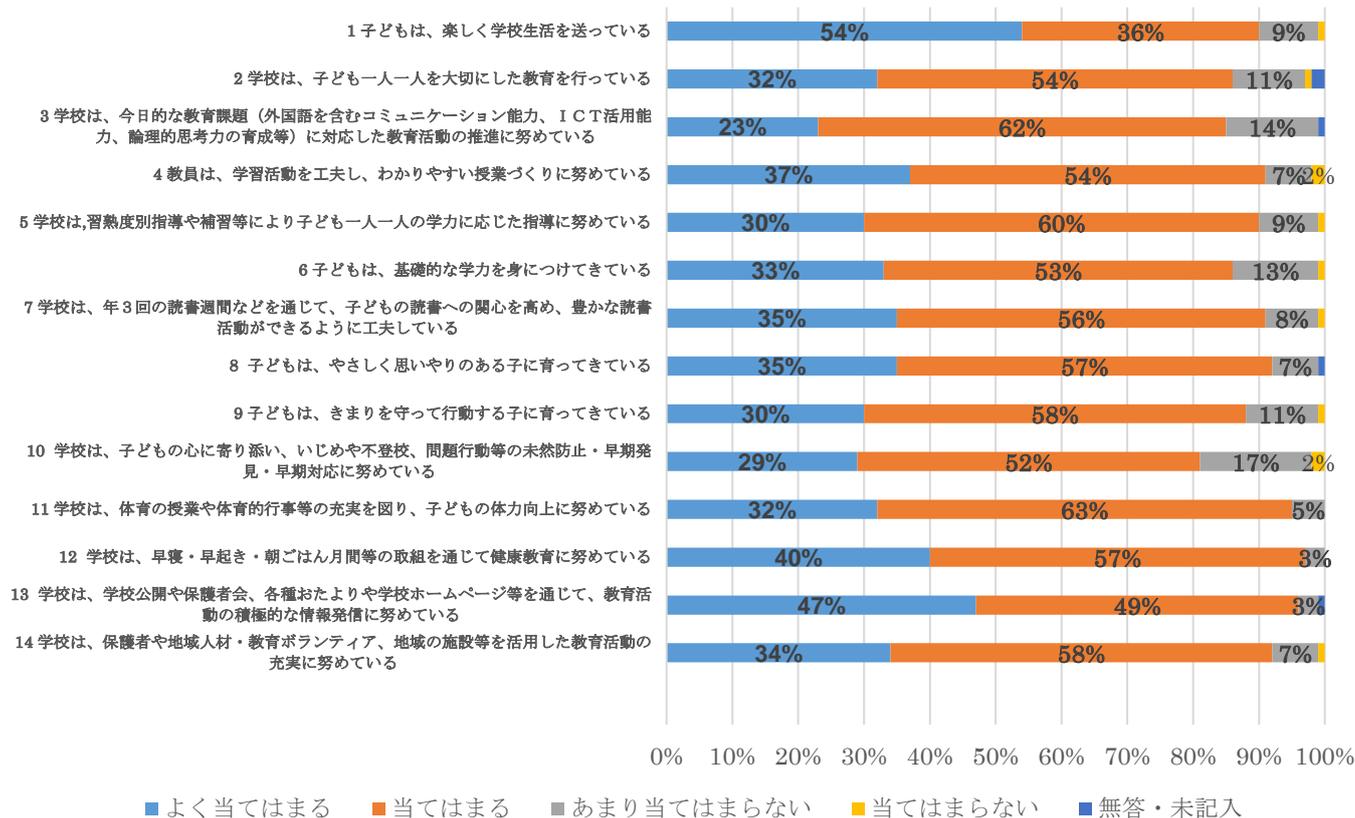
令和元年度 学校についてのアンケート（児童）



令和2年度 学校についてのアンケート（保護者）



令和元年度 学校についてのアンケート（保護者）



【 保護者を対象としたアンケート 】

回答へのご協力、ありがとうございました。回収率が昨年度から約3ポイント上昇し、95%となりました。本校としては、今後も保護者の皆様の率直な声をできるかぎり広くうかがいたいと考えております。

14項目の全てで肯定的回答が85%以上となり、うち10項目では9割以上と、全体として大変高い評価をいただきました。経年比較では肯定的回答が9項目で増、4項目で減となりました。

右表に示したのが、経年比較で増減が著しかったもの（±3ポイント以上）です。児童アンケートと同様に、学校生活の再開に喜びを感じている子どもたちの姿が反映されたものもあるようです。新学習指導要領の全面实施に伴って指導内容が変わり、それに応じた指導方法の工夫にも取り組んできました。ICT活用の推進、学年に応じたプログラミング学習の導入、外国語への取組等にも多くのご理解をいただきありがたく思います。

経年比較で肯定的回答の「減」が最も顕著だったのが「11 学校は、体育の授業や体育的行事の充実を図り、子供の体力向上に努めている」の項目です。運動会は縮小・分割して実施できたものの、「水泳・水遊び」の学習、体育朝会、持久走週間や体力テスト、また遠足や移動教室など体力向上に欠かせない行事も中止となりました。4年生以上の放課後遊びも感染状況ステージ3となった時点で停止し、現在に至っています（教職員による校内消毒作業の時間確保もあるため）。

子どもたちの体力向上は、学校としても今後の重要な課題として捉えております。

【 自由記述欄より 】

記述によるご意見・ご感想も頂戴しました。詳細は割愛させていただきますが、集約の上で代表的なものを紹介させていただきます。なお、地域教育連絡協議会「ふるさと会」の皆様には、全てのコメントをご覧いただいたうえで、本校の学校関係者評価に参画していただいております。また、PTA活動に関するご意見なども集まっており、PTA会長とも共有しております。

- コロナ禍における運動会等の学校行事を含む教育活動の工夫と推進に関する評価 ⇒ 不十分なことも多かったが、この機会に教育活動の在り方を見つめ直すこともできた。コロナ収束後に元に戻すだけでなく、「児童に必要な活動」という視点で学校マネジメントを進める。
- 一人一人を細かく見てほしい。じっくり、くり返し、丁寧に指導してほしい。よいところを見てほめてあげてほしい。宿題も含めやりがいのある学習指導をしてほしい、課題のチェックなどが甘い、休職となった教員に関する説明やその後の学校の対応が不十分、などといった学校体制や教職員の課題等について ⇒ 指導や説明、事後対応の丁寧さに欠けるとお感じになられたところがあったのは申し訳ありませんでした。改善に努めてまいります。（お気付きのことなどがあれば、その都度ご指摘・ご相談くださってけっこうです）
- 児童のSNSへの関わりが心配 ⇒ 情報モラルは学校でも指導。保護者との連携が必要。
- 欠席連絡、学習面や連絡周知等の電子化を進めてほしい ⇒ 大田区として電子化の方向で検討が進められている。本校としても環境整備の後に推進。
- 学校ホームページが充実し、学校の様子がよく伝わるのでよい。 ⇒ 継続

※ プログラミング学習、ESD等の教育課題への取組についてのご質問などもありました。

* 昨年度から3ポイント以上「増」のもの

項目番号・内容	肯定的回答率	昨年度比
1 楽しく学校生活を送っている	95%	+7ポイント
3 今日的課題に対応した教育活動	90%	+5ポイント
6 基礎的な学力を身につけてきている	86%	+5ポイント
10 いじめ・不登校、問題行動等への対応	85%	+4ポイント
2 子ども一人一人を大切に教育	91%	+3ポイント
5 一人一人の学力に応じた指導に努めている	93%	+3ポイント

* 昨年度から3ポイント以上「減」のもの

項目番号・内容	肯定的回答率	昨年度比
11 子どもの体力向上に努めている	88%	-7ポイント